

2017年度 篠栗町 まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況報告

2018/6/27

篠栗町 まちづくり課

基本目標 1

安定した雇用を創出する

(1)地域における雇用の創出

①篠栗北地区産業団地開発事業

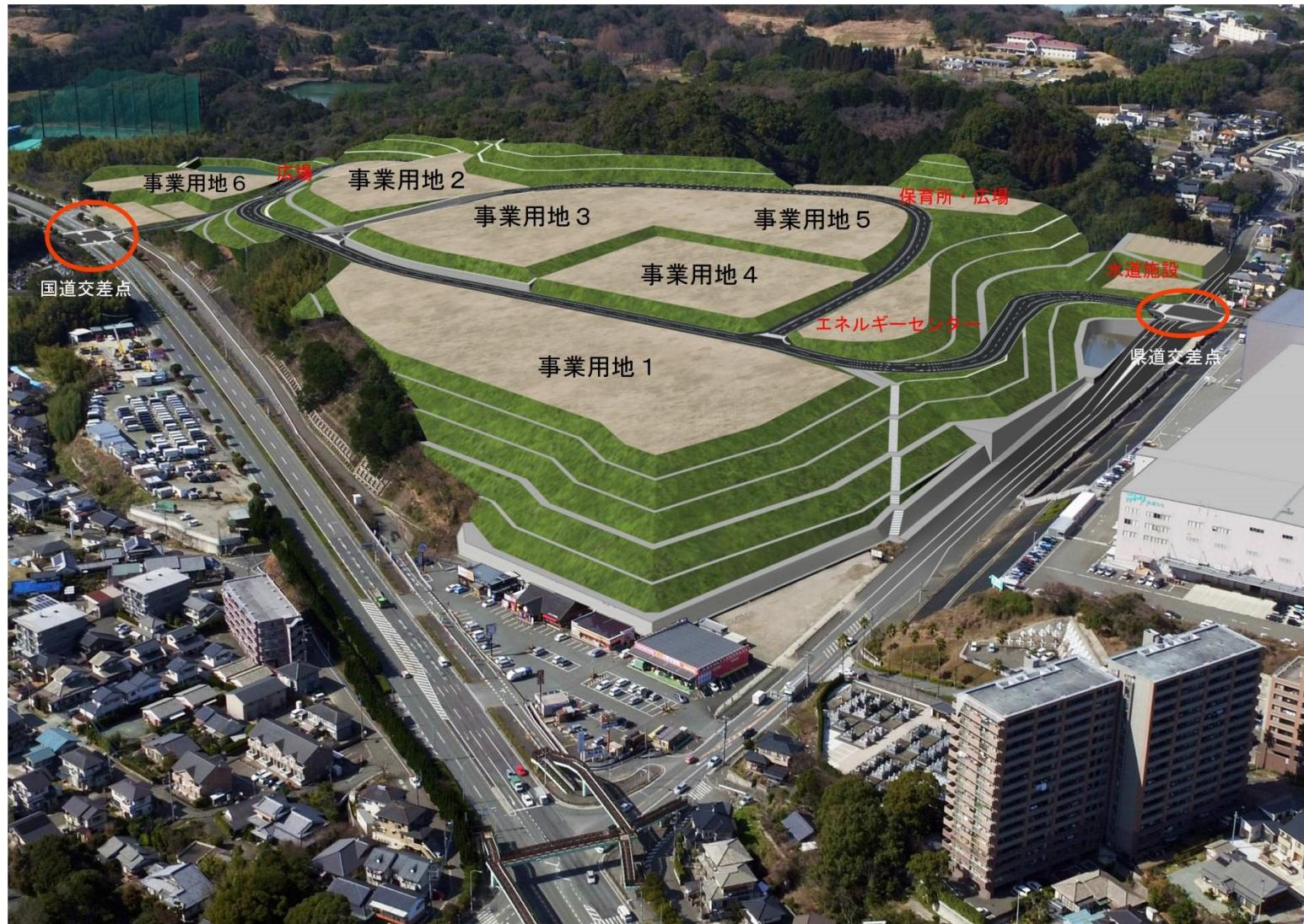
本町における雇用機会を創出し、三大都市圏やその他の地域からの移住や定住の促進に寄与することをめざした産業団地を開発し、あわせてバイオマス産業都市認定に向けたとりくみを進め、一貫した循環型エネルギー・システムによる雇用の創出を図ります。

取り組み主体 行政 企業

- K P I 篠栗北地区に産業団地を形成し、企業誘致による新規雇用 250人

篠栗北地区産業団地 イメージ図

イメージ図



篠栗北地区産業団地の進捗状況

2017年度の取り組み

- ①都市計画法第29条申請認可
- ②林地開発協議終了
- ③造成設計等
- ④造成計画地の伐採業務
- ⑤本体工事並びに関連工事の発注
- ⑥進出企業との個別協議

2018年度の取り組み

- ①立地企業との本協定並びに売買契約締結
- ②本体造成工事並びに関連工事着手

篠栗北地区産業団地伐採現場写真



篠栗北地区産業団地伐採現場写真



篠栗北地区産業団地伐採現場写真



(1)地域における雇用の創出

②篠栗西地区沿道サービス誘致事業

篠栗西地区の国道201号に沿道サービスを誘致し、雇用の促進を図ると共に周辺地域の利便性を高めます。

取り組み主体 行政 企業

○KPI 沿道サービス誘致による新規雇用 50人

篠栗西地区沿道サービス誘致促進の進捗状況



- ・民間開発業者と各地権者との定期的な協議を継続して行っている。

(1)地域における雇用の創出

③中山間地域への企業誘致

中山間地域の活性化を図るため、地域特性に適した企業(IT・設計・研究等) の誘致を行います。

取り組み主体 行政 企業 地域 団体

○ K P I 中山間地域への誘致企業数2社

中山間地域へ企業誘致の進捗状況

2017年度の取り組み

①創業者支援

篠栗町・柏屋町・久山町・新宮町の4町共同事業

- ・創業塾の開講 計3期実施

参加者数 第1期 17名（うち篠栗町から0名）

第2期 15名（うち篠栗町から7名）

特別コース 2名（うち篠栗町から0名）

カリキュラム内容

ビジネスプランの作成準備、創業のビジョンとビジネスモデル、地域創業者による体験談、会計の基礎知識、マーケティングの基礎知識など

中山間地域へ企業誘致の進捗状況

2018年度の取り組み

経営者・後継者のための「事業継承セミナー」の開催

- ・篠栗町商工会青年部・柏屋町商工会青年部・久山町商工会青年部による共同事業
- ・6月～9月講習会の開催
- ・内容

事業継承がなぜ必要なのか？・事業継承で知っておくべき
経営知識について・事業継承の全体像及び進め方・事業継
承の事例・事業継承に関する様々な支援施策について

基本目標 2

まちに人を呼び込む

(1)新しい観光産業の創出

①観光農園事業の推進

農業6次産業化への取り組みとして町有地を活用した生産性が高い農産物による観光農園事業に取り組みます。また、直売所を設け、地域資源を活かした特産物の商品開発並びに販売ができる体制を構築し観光客増加につなげます。

取り組み主体 行政 企業 地域 団体

○KPI 観光農園事業による来園者数5,000人

観光農園事業の推進の進捗状況

2017年度以降の取り組み

予定する町有地が調整区域であり、県の開発認可を得ることが困難であることや、想定した整備コストが膨らむと判断されたため期間内の実施を見送る。

(1)新しい観光産業の創出

②森林セラピー基地の活用

平成22年9月のオープン以来、森の案内人の会のイベントが毎月開催されるなど、森林セラピート体験者がリピーターも含め年間600人を超えていいます。地域資源である森林セラピー基地に篠栗四国八十八ヶ所など魅力ある体験メニューを組み合わせることで、企業研修等の場としての活用を図り、若年層を含めた更なる来訪者の増加を図ります。

取り組み主体 行政 企業 地域 団体

○ K P I 森林セラピーを活用した企業研修等

の利用企業数 10社

森林セラピー基地活用の進捗状況

2017年度の取り組み

- ・体験モニターによる発信

体験前後の振り返りを行うことにより、心身がリラックスしていることを体感し、参加者間での共有を図った。

- ・魅力あるメニューの開発

研修の目的に応じて、ノルディックウォーキングや、お寺での瞑想・写経体験などを組み込んだプログラム提案を行った。

2017年度企業利用件数2社

森林セラピー基地活用の進捗状況

2018年度の取り組み（前年度の継続）

- ・ PR活動の推進

企業向け森林セラピーパンフレットによる広報で、研修の導入検討を
いただいた企業へのプレゼンテーションを行う。

- ・ 体験モニターによる発信

体験前後の振り返りを行うことにより、心身がリラックスしているこ
とを体感し、参加者間での共有を図る。

- ・ 魅力あるメニューの開発

研修の目的に応じて、ノルディックウォーキングや、お寺での瞑想・
写経体験などを組み込んだプログラム提案を図る。

森林セラピー基地活用メニュー



森林セラピー基地活用メニュー



森林セラピー基地活用メニュー



森林セラピー基地活用メニュー



(1)新しい観光産業の創出

③デトックスホテル(断食) の推奨

以前は70軒ほどあった旅館が現在14軒となっています。その中で、休業中の旅館の利活用の一つとして、体内の毒素や老廃物を身体から出し、必要な栄養素を摂り入れやすくするデトックス(断食)の手法を取り入れた新たな観光モデルを推奨します。

取り組み主体 企業 地域 団体

○KPI 休業旅館のデトックスホテルの活用 1か所

デトックスホテル(断食) の推奨の進歩状況



デトックスホテル(断食) の推奨の進歩状況



デトックスホテル(断食) の推奨の進捗状況



デトックスホテル(断食) の推奨の進捗状況

2017年度ファスティングホテル若杉屋 利用状況

延べ利用者数 800人

オープンからの集客数 1,807人



(2)移住・定住の促進

①篠栗町のPR強化

本町への移住の検討や定住並びに企業誘致を促すため、町ホームページのアクセス利便性や情報基盤の強化を図り、篠栗町の更なる魅力発信に努めます。

取り組み主体 行政

- KPI 移住・定住につなげる魅力あるホームページにし、
アクセス数20万回増

篠栗町 P R 強化の進捗状況

2017年度の取り組み

- 2017年度ホームページアクセス数**971,126**件(KPI設定816,856件)
- アクセス数増の要因は、「篠栗九大の森」がSNSで話題となったことが挙げられる。
- なお、Facebookの利用者が減少していることがリーチ数（投稿を閲覧した人の数）に顕著に表れていることから、今後の運用を考えいく必要がある。

2018年度の取り組み

- ホームページのリニューアルを実施。（2019年4月から運用開始）ウェブアクセシビリティ（高齢者や障害者など心身の機能に制約のある人でも年齢的・身体条件に関わらず、ウェブで提供されている情報にアクセスできること）に適したページ作りを行い、誰もが利用しやすいホームページを目指す。併せて、様々な観光スポットも P R できるよう観光ページの充実を図る。
- インタグラムの開設。住民の目線で町の魅力を町内外に発信する。

(2)移住・定住の促進

②JR篠栗駅東側自由通路設置事業

JR篠栗駅東側に自由通路の設置と駅北側に交通広場を整備することで駅周辺の混雑解消など利便性向上や篠栗北地区の活性化を図り、新たな人口流入につなげます。

取り組み主体 行政

○KPI

JR篠栗駅の1日当たりの利用者数延べ5,500人

JR篠栗駅東側自由通路設置事業の進捗状況

2017年度の取り組み

- ・自由通路本体工事着手
- ・用地交渉（JR篠栗駅側自由通路接地部分及び北側交通広場）
- ・電柱等支障移転

2018年度の取り組み

- ・自由通路本体工事完了

篠栗駅東側自由通路工事進捗写真



篠栗駅東側自由通路工事進捗写真



篠栗駅東側自由通路工事進捗写真



篠栗駅東側自由通路工事進捗写真



篠栗駅東側自由通路工事進捗写真



篠栗駅東側自由通路工事進捗写真



篠栗自由通路内観パース（南から）



篠栗自由通路外観バス_昼



北側交通広場外観パース (クリエイト篠栗側から)



北側交通広場外観パース (立体駐車場から)



基本目標 3

若い世代の結婚・出産・子
育ての希望をかなえる

(1)結婚への支援

①出会いの場の創出

出会いを増やす取り組みの一環として九州・沖縄森林セラピー基地ネットワーク会議森林セラピー推進事業である「森コンde森林セラピー」を九州圏域で実施し、出会いの場をつくります。

取り組み主体 行政

○KPI 各種イベントの参加者数100人

出会いの場の創出の進捗状況

2016年度時点での現状

- ・九州・沖縄森林セラピー基地ネットワーク会議森林セラピー推進事業である「森コンde森林セラピー」が中止となっており再開の目途が立ってない。



(2)出産・子育て支援の充実

①子育て世代の定住の促進

子育て世代や生産年齢世代の定住や、東京圏をはじめ福岡都市圏からの移住を図るためにコミュニティを重視した魅力ある住環境開発を促進します。

取り組み主体 行政 企業

- KPI コミュニティを重視した魅力ある新規住宅350戸

(2)出産・子育て支援の充実

2017年度末 開発申請状況

○分譲物件

一戸建て 30戸

集合住宅 67戸



○賃貸物件

集合住宅 199戸



固定資産税家屋調査実績

2015年～2017年

戸建住宅206世帯

うち子育て世代163件

写真はイメージです。

(2)出産・子育て支援の充実

②子育て環境の充実（キッズコーナーの設置）

町内店舗や公共施設においてキッズコーナーの設置を推進し、子育て世代が利用しやすい環境づくりをめざします。また、福岡県が実施している「子育て応援の店」の登録店舗増に向けて活動を推進します。

取り組み主体 行政 企業

- KPI キッズコーナーの設置 公共施設2か所増
町内店舗11ヶ所増

子育て環境の充実（キッズコーナーの設置）の進捗状況

2017年度の取り組み

- ・町内店舗での設置に向け、篠栗町商工会との連携
- ・子ども連れ入れ店舗に対する広報支援

2018年度の取り組み

- ・3店舗増を目指す。
- ・町内店舗での設置に向け、篠栗町商工会との更なる連携
- ・子ども連れ入れ店舗に対する広報支援

(2)出産・子育て支援の充実

②子育て環境の充実（子育て包括支援センターの設置）

現在、実施している産後支援ヘルパー事業について産前まで対象を拡大し、妊娠期から中学生までの一貫した支援を実施します。

妊娠期：出産に対する不安、出産準備など

出産：出産直後の家事援助、新生児の育児、産後うつなど

子育て期：子どもとの関わり、保育施設入所、病児保育、子どもの発達、しつけ、遊び場情報など

取り組み主体 行政

○KPI 子育て包括支援センター 1か所設置 利用者数50人

子育て環境の充実の進捗状況 (子育て包括支援センターの設置)

2017年度の取り組み

- ・健康増進計画の住民アンケートで、子育て支援に関するニーズの把握を実施
- ・現在実施している産後支援ヘルパー事業の妊婦へ拡大に向けた調整
- ・2018年度の開設をめざし、近隣市町や医師会など関係機関との意見交換、
こども育成課、学校教育課など関係各課との協議

2018年度の取り組み

- ・7月2日からオアシス篠栗館内に子育て世代包括支援センターの運営開始
- ・産前産後支援ヘルパー事業の事業拡大
- ・産前産後支援事業の開始
- ・産後ケア事業について、医師会と協議

(2)出産・子育て支援の充実

②子育て環境の充実

(保育施設等【保育所・認定こども園等】供給量の拡充)

保育施設等（保育所・認定こども園等）における受け入れ態勢の整備並びに可能供給量の把握に努めることで定員数の増加に努めます。

取り組み主体 行政 企業

○KPI 保育施設等（保育所・認定こども園等）供給量 677人
から750人

子育て環境の充実

(保育施設等【保育所・認定こども園等】供給量の拡充)
の進捗状況

2017年度の取り組み

- ・2017年4月1日 入所承諾数 742人
待機児童数 21人

2018年度の取り組み

- ・2018年4月1日 入所予定数 735人
待機児童数 14人

(2)出産・子育て支援の充実

②子育て環境の充実

(放課後児童健全育成推進事業の供給量の拡充)

たけのこ・すぎのこ児童館内に学童保育室の増設と19時までの延長保育を実施します。

取り組み主体 行政 企業

○KPI 放課後児童健全育成推進事業(学童保育) 20人の定員増

子育て環境の充実

(放課後児童健全育成推進事業の供給量の拡充)

の進捗状況

2017年度の取り組み

- ・延長保育の継続
- ・夏休みに限った学童保育の開始 実績 10名

2018年度の取り組み

- ・長期休暇（夏・冬・春休み）の学童保育の開始

(2)出産・子育て支援の充実

②子育て環境の充実

(ファミリーサポートセンターの設置)

地域において育児や介護の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、育児や介護について助け合う会員組織を広域で立ち上げ、地域の子育てと仕事と介護の両立を支援します。

取り組み主体 行政 町民

- K P I ファミリーサポートセンター設置数 1 か所
会員数100人

子育て環境の充実 (ファミリーサポートセンターの設置) の進捗状況

2017年度の取り組み

- ・登録会員数 163名
(2016年10月にファミリィサポートセンターを開設済み)

2018年度の取り組み

- ・広報等活用し、会員登録数を170名とする。

(2)出産・子育て支援の充実

②子育て環境の充実

(ふくおか子育て支援マイスター制度)

福岡県の「ふくおか子育て支援マイスター制度」を活用し、子育て支援に意欲がある60歳以上を対象に、病気への対応や事故防止、相談対応のノウハウなど子育て支援者として必要な知識を習得するための研修を実施し、こども見守りボランティア体制の充実を図ります。

取り組み主体 行政 町民

○KPI ふくおか子育て支援マイスター制度登録者数8人増（15名）

子育て環境の充実 (ふくおか子育て支援マイスター制度) の進捗状況

2017年度の取り組み

- ・ 県に登録者の照会を行い実態把握を行っている。
- ・ 登録者増を図るための広報誌を活用
- ・ 2017年度末 登録者数 17人

2018年度の取り組み

- ・ 要望が多い託児に対応できるよう受講体制を充実させ、スキルアップを図る。

(2)出産・子育て支援の充実

② 子育て環境の充実

(子育て環境整備のための現状分析支援)

充実した子育て環境整備を図るため、行政情報である住民基本台帳、福祉、保育、医療保健、税情報、財務会計等を一元化し、施策立案に利活用します。

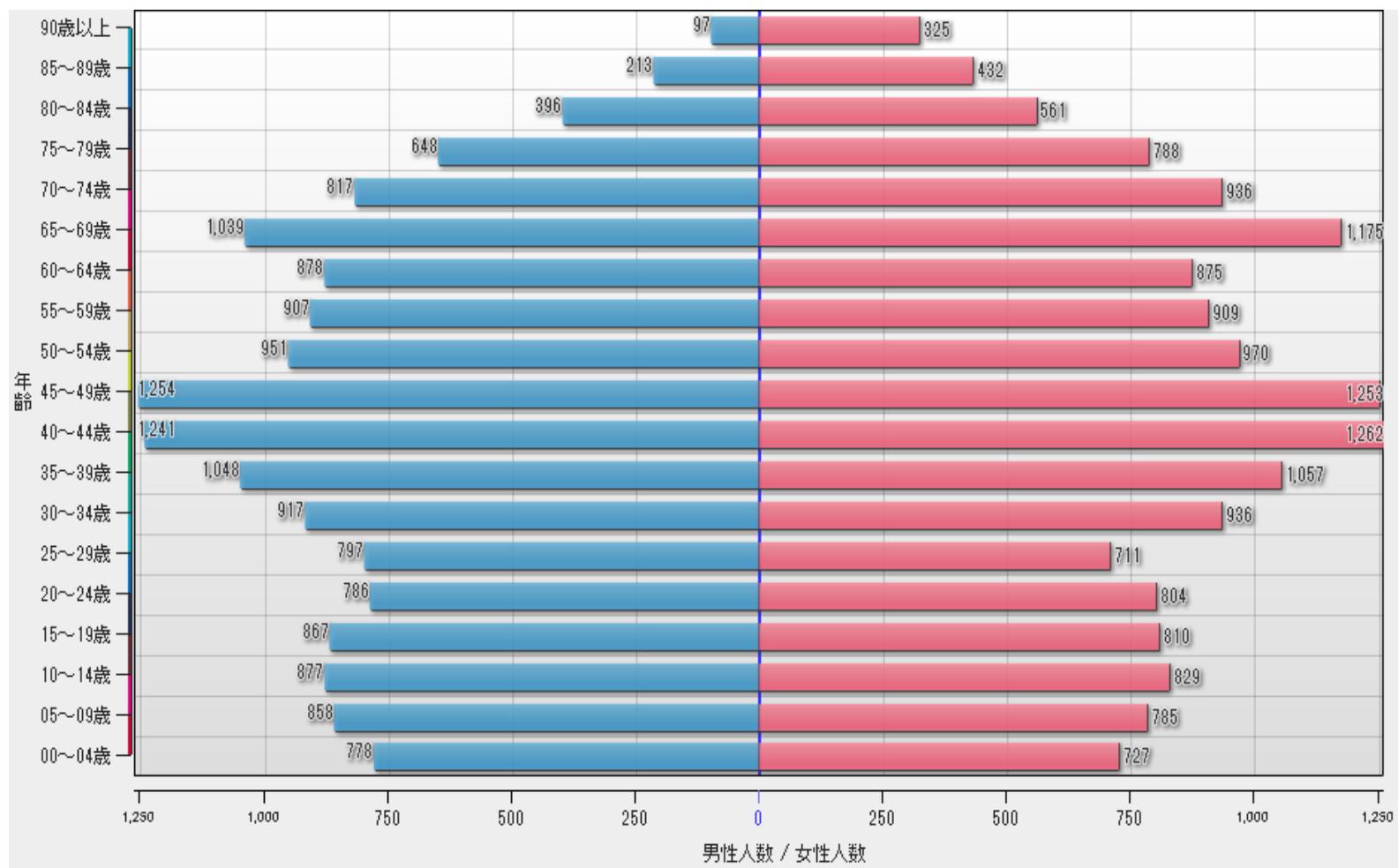
取り組み主体 行政 町民

○KPI 子育て世代50戸増

地方創生システムを活用した現状把握

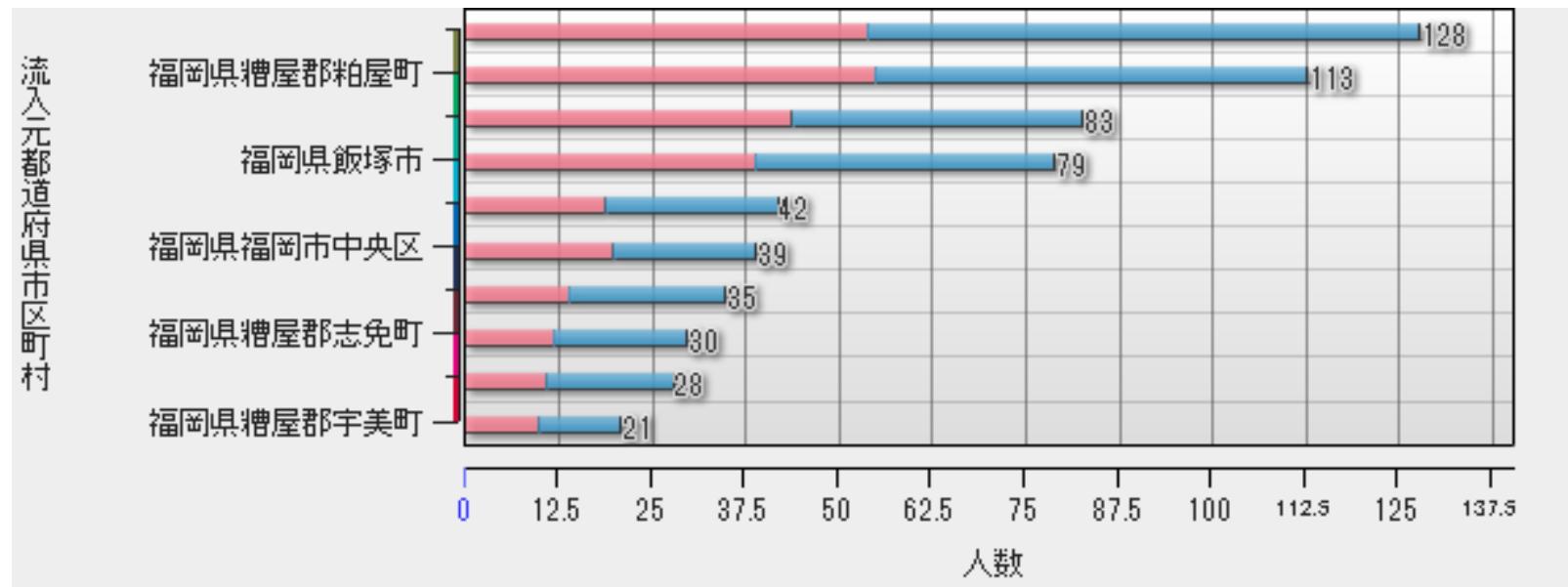
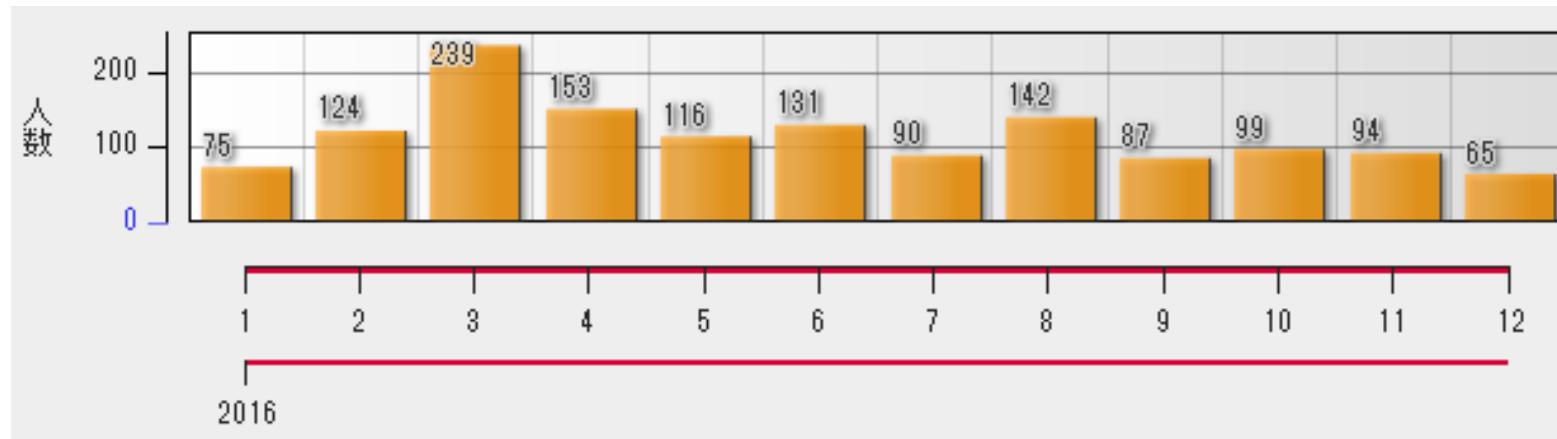
人口ピラミッド

2018/04/30現在



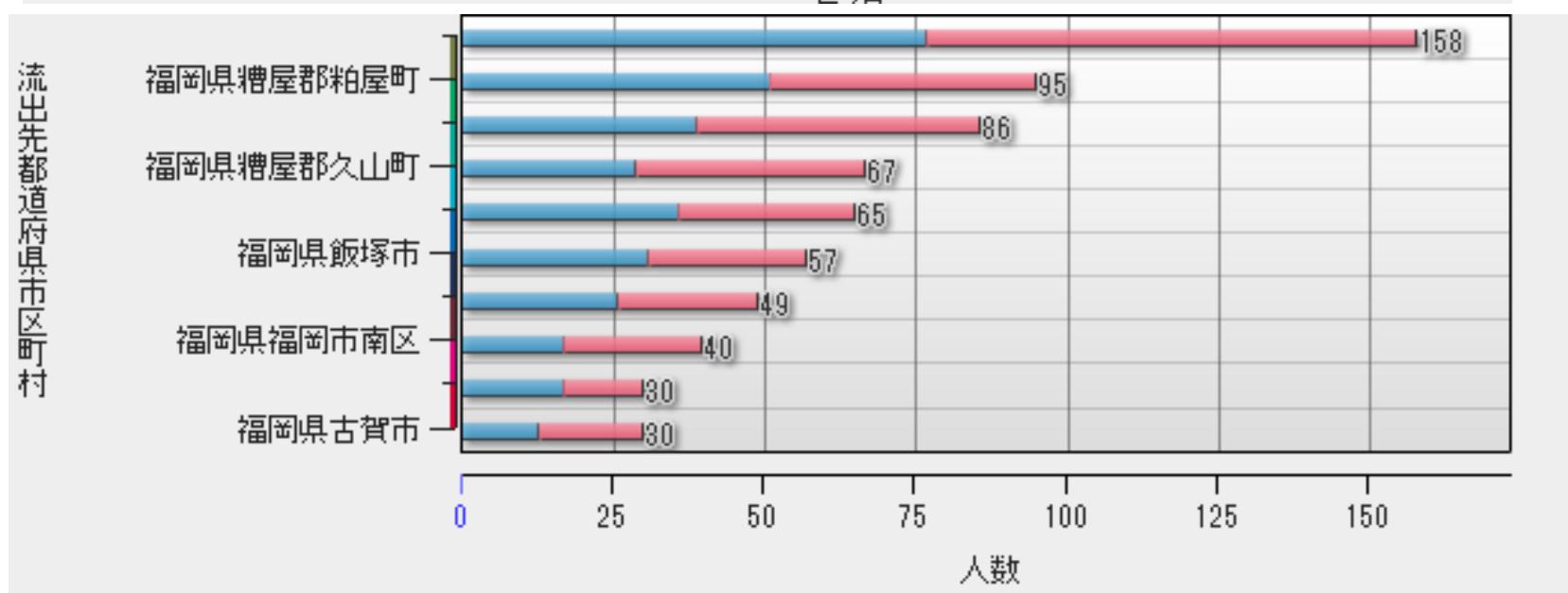
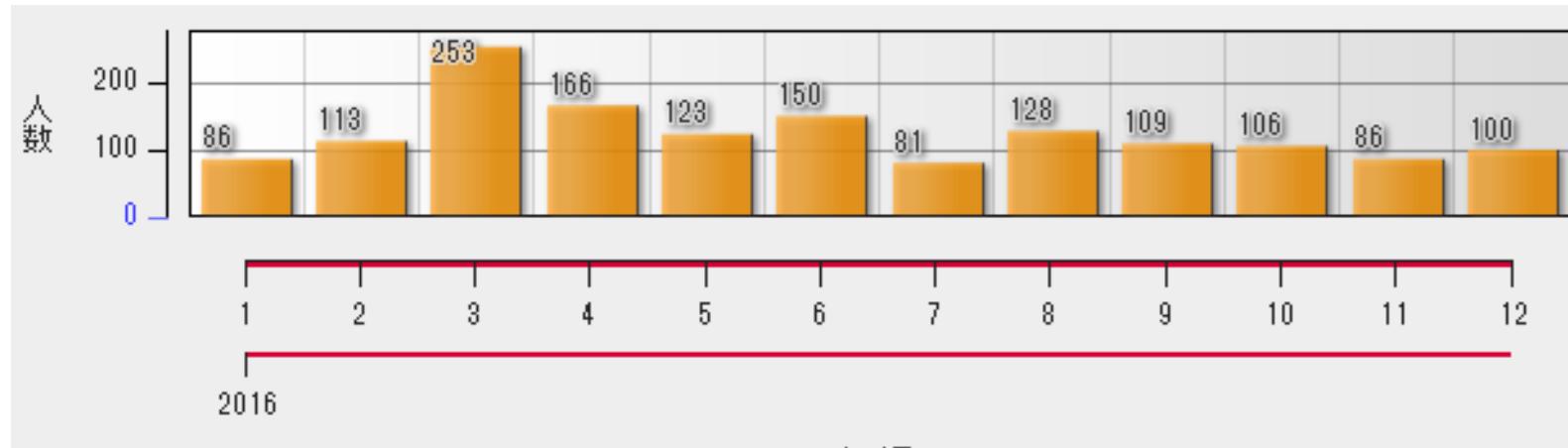
地方創生システムの概要

2016年 人口移動流入分



地方創生システムの概要

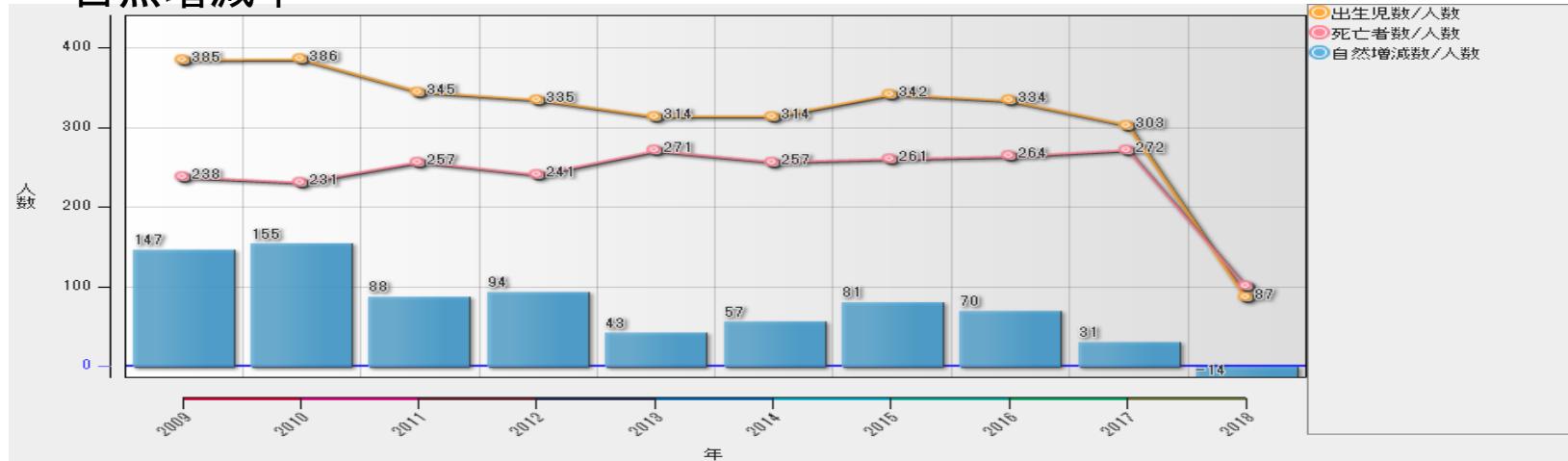
2016年 人口移動流出分



地方創生システムを活用した現状把握

2018/04/30現在

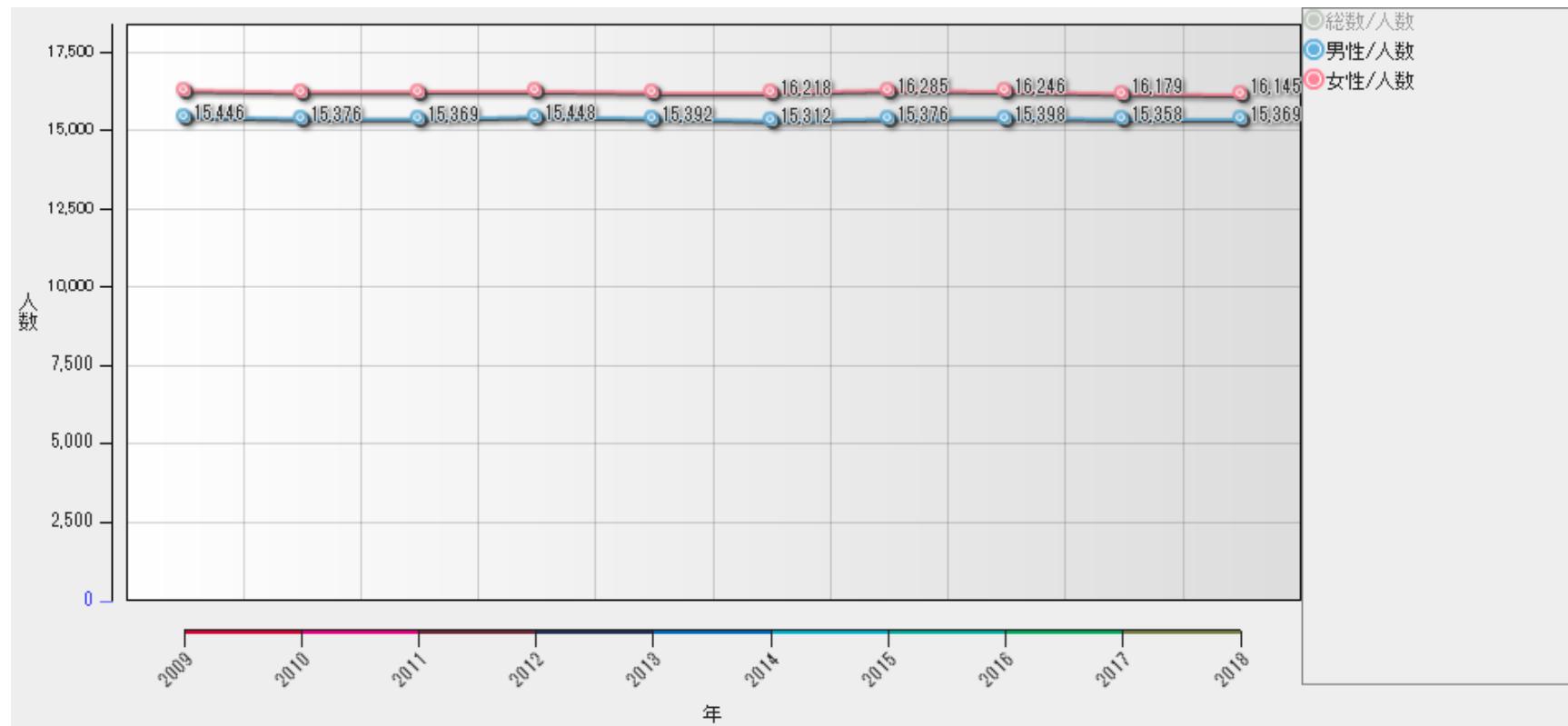
自然増減率



地方創生システムを活用した現状把握

人口推移

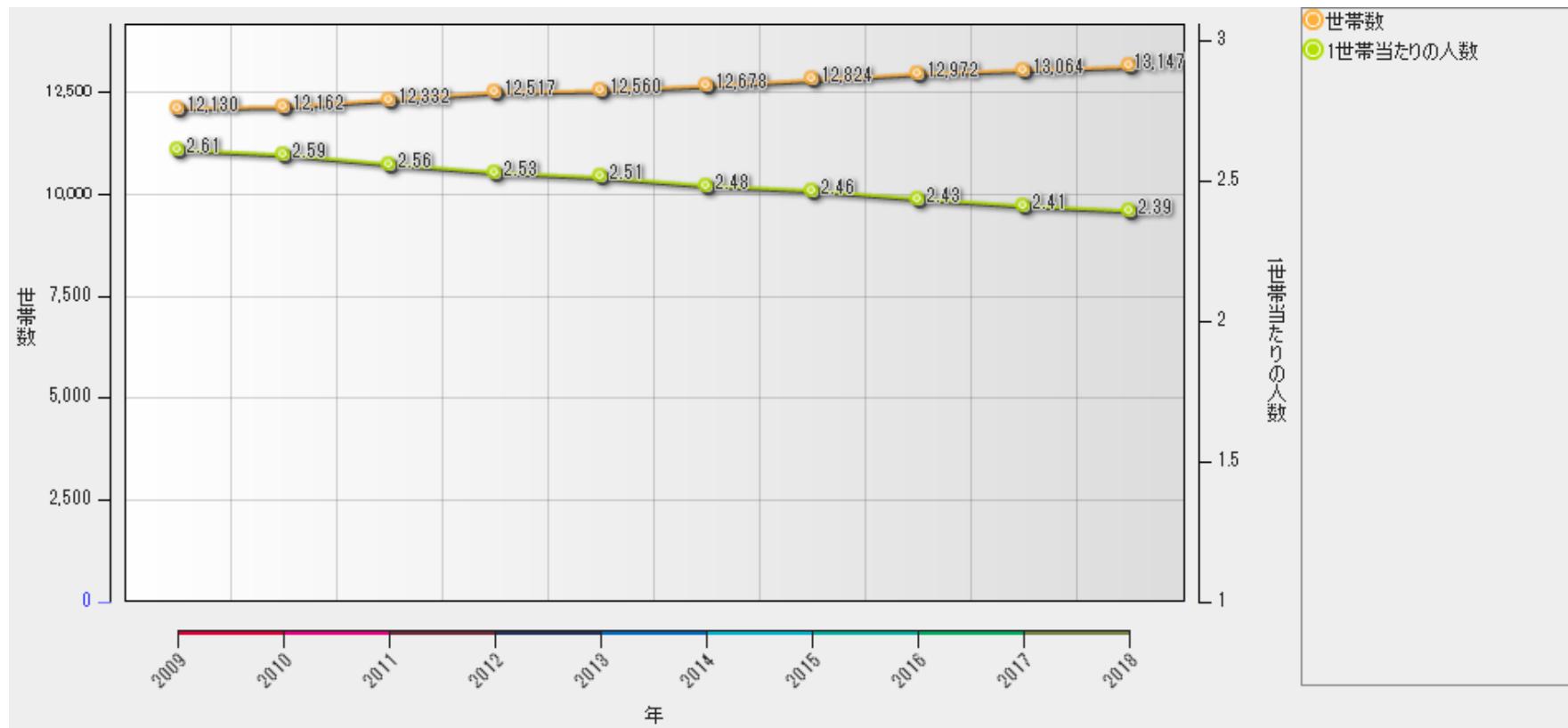
2018/04/30現在



地方創生システムを活用した現状把握

2018/04/30現在

世帯推移



地方創生システムを活用した現状把握

2018/04/30現在

生産年齢別構成図



基本目標4

時代に合った地域をつくり、
安心な暮らしを守るとともに、
地域と地域を連携する

(1)生涯安心して暮らせるまちづくり

①介護に頼らない元気な高齢者の増加

本町の高齢化率は毎年1%ずつ上昇しています。現在、介護保険における認定者出現率は14.2%と福岡県下最低ではありますが今後は増加傾向になるものと考えられます。そこで地域介護予防活動支援事業の更なる充実と自治会からの声かけなどコミュニティを充実させ介護に頼らない元気な高齢者を増加させます。

取り組み主体 行政 企業 地域・団体 町民

○KPI 認定者出現率15%未満

生涯安心して暮らせるまちづくり (介護に頼らない元気な高齢者の増加) の進捗状況

2017年度の取り組み

- ・介護予防、日常生活支援総合事業「おひさま活動」

承認団体は12団体



高齢者の集いの場

➤ 介護予防事業

- ・町内在住の65歳以上が対象
- ・新規介護予防→はつらつ教室

介護保険の認定（Ⅰ・Ⅱ）を受けた方も送迎付きで体操教室に参加できるように枠を広げた。

- ・新規介護予防事業 ⇒ シニアチャレンジセミナー、食と口のセミナー
- ・**2018年3月末現在の介護認定率 ⇒ 14.37%**

生涯安心して暮らせるまちづくり (介護に頼らない元気な高齢者の増加) の進捗状況

2018年度の取り組み

- 介護予防・日常生活支援総合事業「おひさま活動」を町全体に広めていく

- 介護予防事業
 - ・町内在住の65歳以上の人に対する新規介護予防事業を実施



コグニサイズ…運動と認知課題（計算やしりとりなど）を組み合わせ、認知症予防につなげるもの

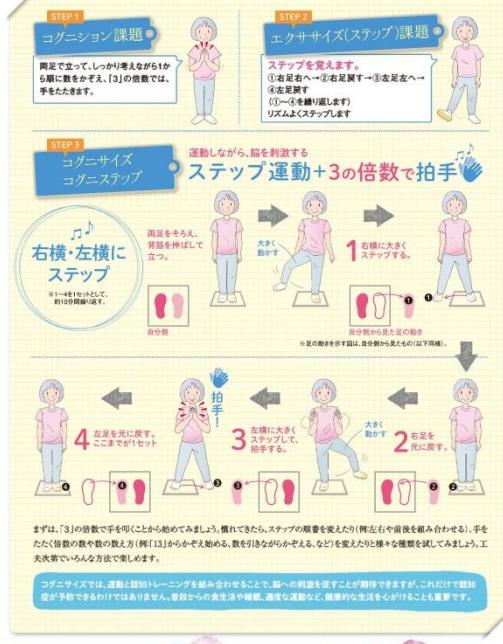
地域コミュニティの維持・強化 (介護に頼らない元気な高齢者の増加)

コグニサイズの概要

コグニサイズ

コグニサイズとは、コグニション(認知)とエクササイズ(運動)を組み合わせた造語で、コグニション課題とエクササイズ課題を同時にすることで、脳とからだの機能を効果的に向上させることをねらいます。

コグニサイズ コグニステップ



まずは、「[3]」の倍数で手をひくことから始めてしまいましょ。慣れたら、ステップの範囲を広げたり(両左右や前後を組み合せせる)、手をたくさんの倍数で数え方(例:[13]からかぞえて始める、数を引きながらかぞえるなど)を変えたりと様々な種類を試してみましょ。工夫次第いろいろな方法で楽しめます。

コグニサイズでは、運動と認知トレーニングを組み合わせることで、脳への刺激を促すことが期待できますが、これだけで認知症が予防できるわけではありません。普段からの食生活や睡眠、適度な運動など、健康的な生活を心がけることも重要です。

みんなでコグニサイズ



コグニサイズ実施の留意点

コグニサイズ実施の10カ条

無理をして歩く筋や筋肉が損傷する危険があります。とにかく、今まで運動をしていない方が急に始めた時が危険です。安全で効果的にトレーニングを行うために、実施の前に以下の10カ条を確認しましょう。

- 1 条 無理はないで徐々に行う
- 2 条 ストレッチしてから開始する
体が暖まっていない状態で急に運動すると、怪我につながります。
- 3 条 水分を補給する
水やスポーツ飲料を飲んで、脱水にならない。
- 4 条 痛みが起きたら休息を取る
痛みは何かしら危険信号です。痛みをこなさずに行わないようにしましょう。
- 5 条 トレーニング中の転倒に注意
ぶらつきを防ぎて行ってましょう。
- 6 条 少しの時間でもできるだけ毎日行う
- 7 条 「やさかしい」と感じたらいい運動を行なう
実際に、普段の運動(例:ヨガ)で、(3ペース歩行)適正な運動強度で実施しましょう。
- 8 条 慣れたら次の課題にうつる
- 9 条 トレーニング内容は複数の種目を行う
普段もバランスよく練習を組み入れて、楽な内容のトレーニングを行なって下さい。
- 10 条 健康がもともと大切
運動の基礎となるためには実施前やグループ活動が成立させたい。ひとりで行なう場合は、他の人が見守り、安全な状況で実施しましょう。

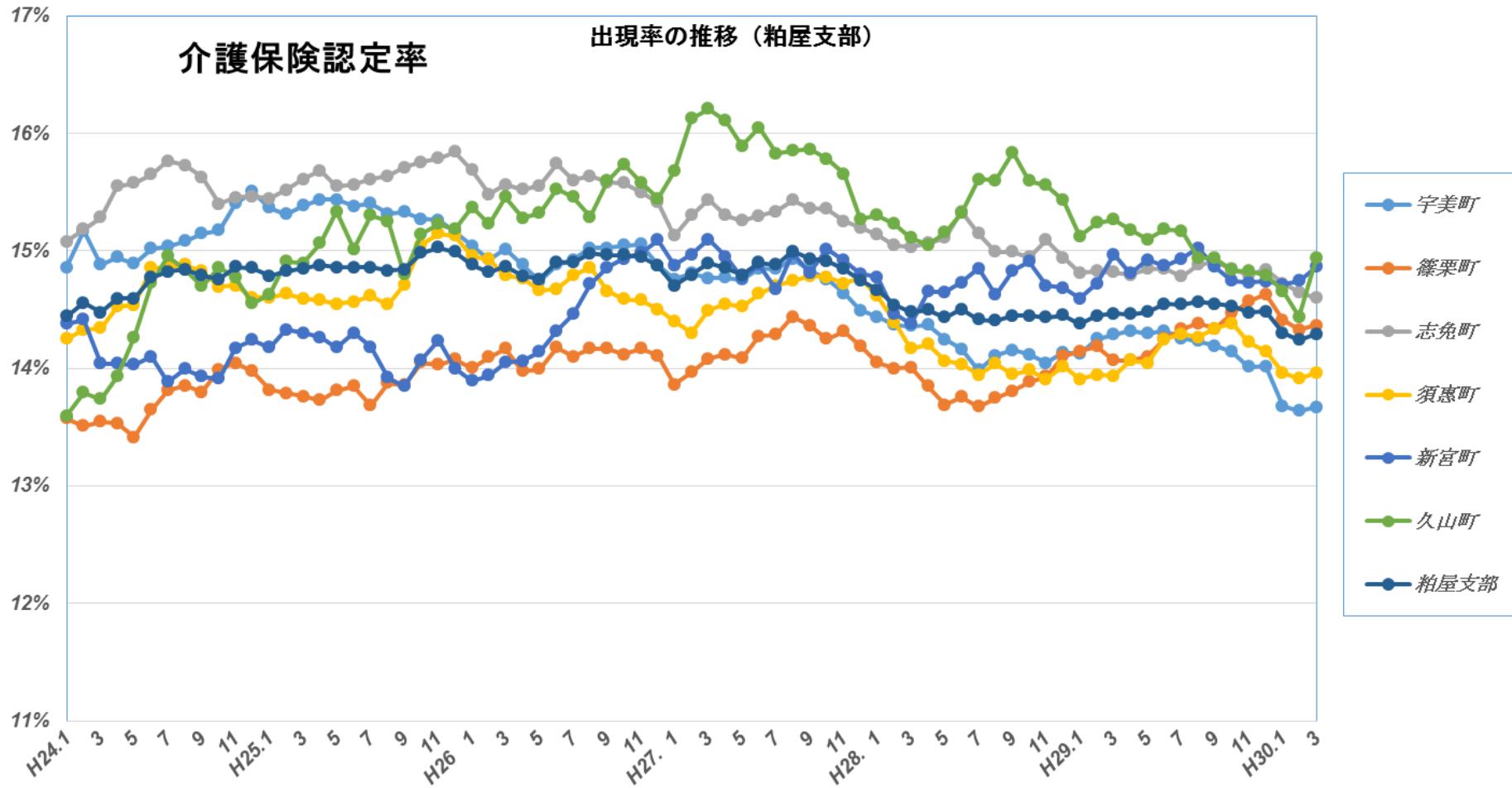
コグニサイズの実施ポイント

- 頻度 運動習慣をつけるためには毎日行なうことが重要です。1回の実施時間は短くてもまとった時間に実施する習慣を身につけることが肝心です。手帳やカレンダーに実施の記録をつけるといいでしょう。
- 運動種目 被服のトレーニング(例えば、ストレッチ、筋トレ、ウォーキングなど)を組み合わせて、効率的な方法で実施しましょう。
- 強度 適切な運動強度を定めて(3ペース歩行)実施しましょう。慣れてきたら10分以上は戻けて運動できるよう心がけましょう。
- コグニサイズの実施のキーポイント

国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター

老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部 国立研究開発法人

生涯安心して暮らせるまちづくり (介護に頼らない元気な高齢者の増加)



(2)地域で支え合うまちづくり

①地域コミュニティの維持・強化

各地域の特色を活かし、コミュニティの相互交流を深めながら、また、コミュニティ活動しやすいよう環境整備を行い、よりよいコミュニティづくりを進めます。また、コーディネーター等の地域の人材の発掘、育成を図ります。

取り組み主体 行政 地域・団体 町民

- K P I メニュー化も取り入れた協働のまちづくり補助金事業
年間申請数20件

地域コミュニティの維持・強化の進捗状況

2017年度の取り組み

- ・実施10件（新規事業4件）
- ・実績額 1,948,451円
- ・メニュー化したまちづくり事業の紹介を広報誌・HP・分館長会で実施

2018年度の取り組み

- ・申請件数15件を目指す（うち新規事業を3割）
- ・まちづくり団体による新規協働事業
- ・まちづくり事業参加者が新たに発案者となるような働きかけ

地域コミュニティの維持・強化 (協働のまちづくり補助金事業)

8(や)10(ど)祭



近年、忘れられがちな町の旅館文化を再発信するため篠栗町旅館組合青年部が主催となって実施しました。8月10日（宿の日）に鳴淵ダム下流河川公園を会場として開催し、250名以上の来場者でにぎわいました。また、町内業者らの出店・中学校太鼓部らのステージイベントなどを実施した。

地域コミュニティの維持・強化 (協働のまちづくり補助金事業)

手づくりによる積み木作り事業



多種多様な形の積み木で思い切り遊ばせることができない、という親の悩みからスタートしました。

やまばと児童館に来た親子や地域の方々らで、端材を磨いて手づくりで積み木作りを行いました。

地域コミュニティの維持・強化 (協働のまちづくり補助金事業)

手づくりによる積み木作り事業

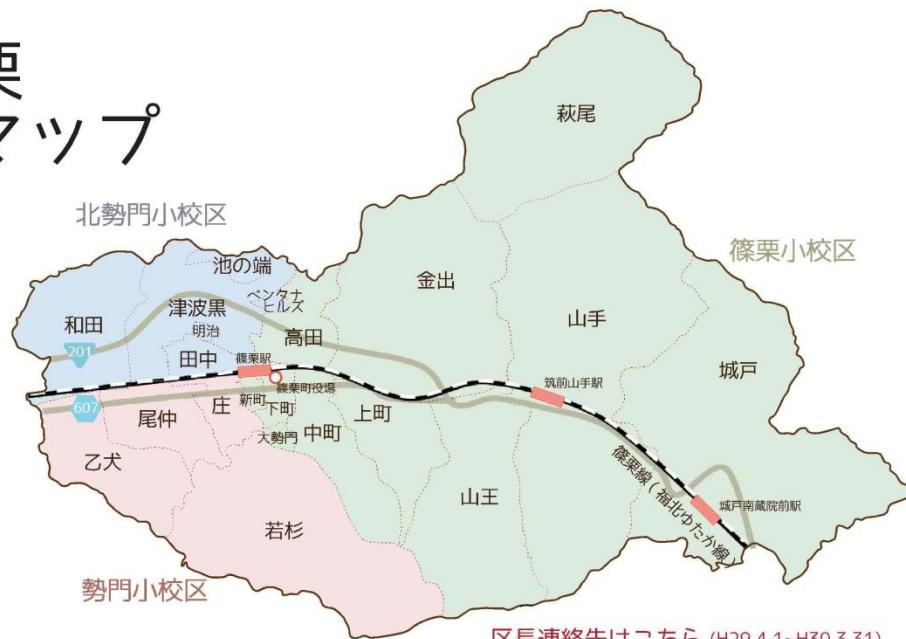


作業を通じて、地域の方や親同士の新たな交流のきっかけとなりました。

また、積み木は、子どもたちの想像力を鍛え、手先の器用さやバランス感覚、集中力を養うと言われています。

自治会加入促進チラシ

篠栗 マップ



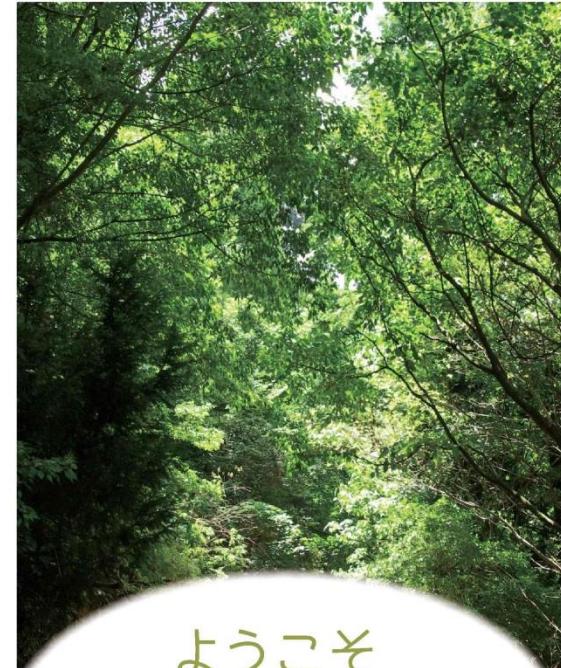
あなたの行政区と組合は
区
組合です

自治会(隣組合)加入の手続きは、それぞれの組織で
異なります。すでに加入されているご近所の方やその
地域の代表者(区長や組長など)にお尋ねください。

緊急連絡先はこちら (H29.4.1~H30.3.31)

防災行政無線テレホンサービス	0120-931-223(音声案内のみ)
篠栗町役場	947-1111
粕屋警察署	939-0110
篠栗町交番	947-0110
中部消防署	938-3216

区長連絡先はこちら (H29.4.1~H30.3.31)				
庄	小林 知生	947-8194	城戸	井上 学
尾仲	長澤 謙	947-6220	山手	阿部 勝人
若杉	蒲原 修一	947-8162	山王	西 秀俊
乙犬	黒瀬 津義	947-1365	上町	實藤 俊一
和田	古賀 幸雄	947-4379	中町	郡嶋 正弘
津波黒	松井 源三	947-0646	下町	山下 順司
田中	城戸 芳成	948-1167	高田	長澤 恒雄
明治	水間 忠義	947-2845	金出	阿部 正明
池の端	岩下 司郎	947-7349	萩尾	山下 登志朗
ベンタナ ヒルズ	棚橋 利昭	947-1801	大勢門	松本 忠昭
			新町	武元 政治



ようこそ
「心のふるさと」篠栗へ



篠栗町では、住みよいまちを
つくるため地域のみなさんが
それぞれの地域で
自治会(行政区・隣組合)を
自主的に運営しています。

篠栗町役場総務課
(2階 13番窓口)
092-947-1112

自治会加入促進チラシ

自治会はみんなの
生活を支えています

防犯灯



暗い夜道を照らす防犯灯は、
安心・安全な生活を支えています。
電気代も含めた防犯灯の維持・管理は、
自治会費でまかなわれています。

美しい
まちづくり



自分たちの住むまちのきれいで
快適な環境を維持するために、
道路や公園の清掃や草取り、
花植えなど、美しく住みよい
まちづくりを進めています。

また、資源回収やごみ集積所
の管理にも取り組んでいます。



安全・安心の
まちづくり



子どもたちの登下校時の
みまもりや防犯パトロール等を
行い、地域の防犯の向上に
努めています。

また、災害に備えて
防災訓練などを行い、日ごろ
から地域の連携を深めるよう
取り組みを行っています。



ごみ 集積所

ごみ集積所は、美しいまちを維持するためには
とても重要なものです。
ごみ集積所の維持・管理や廃品回収に
かかる費用は自治会費でまかなわれています。

他にも ...

ふれあいの
まちづくり



開かれた
まちづくり

組合加入率の遍歴(篠栗校区)

行政区名	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
城戸区	87.6	90.1	84.0
山手区	97.5	92.8	80.7
山王区	86.1	84.0	84.0
上町区	79.7	78.3	77.7
中町区	74.0	75.0	76.5
下町区	75.0	69.6	68.2
高田区	64.4	64.0	65.5
金出区	60.8	63.1	64.3
萩尾区	72.4	74.1	68.3
大勢門区	80.3	77.4	78.7
新町区	69.2	70.5	70.8

組合加入率の遍歴(勢門・北勢門校区・全体)

行政区名	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
庄区	57.8	54.0	54.0
尾仲区	66.3	60.4	59.8
乙犬区	74.6	73.5	73.2
和田区	87.1	83.1	82.8
津波黒区	73.3	70.6	68.9
田中区	68.7	66.8	66.9
明治区	92.9	80.6	83.3
池の端区	73.6	71.9	66.0
ベンタナヒルズ区	96.7	97.3	96.8

篠栗町全体	73.0	70.3	70.0
-------	------	------	------